

# Stabilizer Link

共通取り扱い説明書

FIT IN ▶ ABARTH500/595/695/500C

## ■ THAB2212 スタビライザーリンク

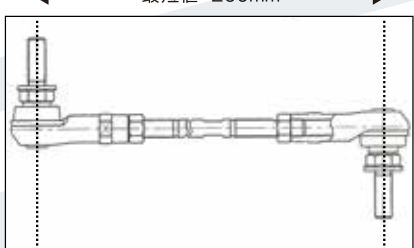


この度はTHREEHUNDRED商品をお買い上げいただきありがとうございます。製品を安全にお使いいただくため、本書に記載されている取り付け方法を一通り読んでいただき、確実に製品を車両にお取り付けください。作業前に製品に外観上の不具合がない事と、付属品の確認を行った上で作業を開始してください。

### 付属品

スタビライザーリンク ×2  
本書 1部

### <安全にお使い頂く為に>

本商品は機能を追求する為に、リンク長が伸縮する仕様となっています。出荷時よりリンク長を伸ばして使う際には、ロッドのネジ部分のかけりを確認しながらお使い下さい。ネジのかけりが浅いとシャフトからボールエンドが脱落する危険があります。

<p>1</p> <p>本商品はサスペンションの一部を分解する作業を伴いますので、必ず整備資格を保有している自動車工場での作業をお願い致します。スタビライザーリンクの取り付けトルクは、純正ナットの取り付けトルクに準じています。</p>	<p>2</p> <p>出荷時: 285mm 最短値: 260mm</p> 	<p>3</p> <p>スタビライザーリンクの寸法を記載致します。がよほど車高が低い車以外は出荷時の寸法で取り付けをお勧め致します。THREEHUNDREDデモカーは出荷時の285mmで取り付けを行い、走るシーンによりましては-10mmで使用しています。左図を参考にして頂き、リンク長が260mm以下での使用は絶対に行わないで下さい。スタビライザーリンクを破損するだけでなく、異音の原因にもなります。</p>
<p>4</p> <p>純正のスタビライザーリンクを外し、本製品と交換します。 本製品はロッドがターンバックル式になっておりまして、両端のナットを緩める事で、車両に取り付けた状態でも全長を伸縮調整する事が可能です。各部のナットは取り付け前、装着後に定期的な締め付け確認を必ず行って下さい。</p>	 <p>Dukes &amp; Co. 1-13-9 uehara shibuya -ku Tokyo Japan mail to contact@threehundred.jp Call 03-5738-7573</p> <p><a href="https://www.threehundred.jp">https://www.threehundred.jp</a></p>	
<p>5</p> <p>スタビライザーリンクの取り付けが終わりましたら、今一度各部の確認作業を行い作業は終了です。 スタビライザーリンクは全長を変える事で、サスアームがストロークし、スタビライザーの反力を発生させるポイントを変化させる事が出来るアイテムです、ロッド長を調整されて是非フィーリングの違いを楽しまれて下さい。</p>		<p>セッティングアドバイス</p> <p>デモカーの車高は上記画像の計測方法で545mm(17inc)です。この寸法が一番オールマイティーでバランスが良かったです。車高は545mmのままで、初期のレスポンスを上げたい時にはロッド長を275mmに調整して使用しています。545mmより車高が高い車に関しましては、出荷状態でお使い頂く事をお勧め致します。</p> <p>参考数値</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・車高535mm→ロッド長280mm</li><li>・車高550mm→ロッド長285mm</li></ul>

商品のお買い上げありがとうございました。

 Duke's & Co.